

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

仏教学部は、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 仏教学部の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

- ・仏教や禅を学ぶ強い意欲を持っていることを基準として各種の自己推薦・特別選抜を実施する。特に、仏教や禅を学ぶ上で有効な能力に関わる各種検定の資格取得者、および曹洞宗の僧籍を有する人を対象に「特性評価型」の自己推薦選抜を実施する。
- ・高校時代に得た各種資格における能力を積極的に活かし、また曹洞宗僧侶として生涯にわたって禅および仏教の修学をつづける意欲がある。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

仏教学部では、広い視野に立ちながら多くの関係文献を丹念に読解していく学習態度と知識と読解力が求められる。そのため、高校でのすべての科目を十分習得し、日常的な学習の習慣が身についている。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

仏教学部のカリキュラムを修得する上で必要な国語・外国語・歴史において、十分な基礎能力を有し、また、与えられた課題に対し、自分の視点や意見を論理的に表現できる思考力と文章力、大学生活に適応できるコミュニケーション能力を有し、周囲の人々と豊かな人間関係を構築できる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

仏教学部では、世界的に関心を持たれている仏教や禅の歴史や思想を体系的に学習・研究することによって、国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：文章を読解し思考し、論理的に表現することができること。古文・漢文の基礎を身につけること。
- ・外国語：聞く、話す、読む、書く、の基礎的な英語を中心とした外国語4技能を身につけること。
- ・地理歴史・公民：日本や世界各地の歴史、宗教、文化や社会についての基礎知識を身につけ知的好奇心をもつこと。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・予習復習を基本とした高校までの学習習慣が維持できるよう、大学から与えられ

た課題や、苦手科目の復習などに取り組むこと。

- ・宗教や思想哲学に限定せず、文学や新聞など、幅広い分野の書物を読む習慣を身につけ、読解力、思考力、表現力を磨くこと。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
	S方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通 テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	中期	筆記試験		◎	○		
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学部の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	○	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	自己推薦選抜（特性評価型）	出願書類	○	◎		○	
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	

							的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	○	◎	◎	◎	
		英語		○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		日本留学試験（成績）		◎			
		小論文等		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等		◎	○		
		英語		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
社会人編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、学び直しを希望する社会人や多様な経験を有する社会人を受け入れることを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。	
	小論文	○	◎	◎	◎		
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

禅学科は、駒澤大学及び仏教学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 禅学科の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

禅を学ぶ強い意欲を持っていることを基準に各種の自己推薦・特別選抜を実施する。特に、禅を学ぶ上で有効な能力に関わる各種検定の資格取得者、および曹洞宗の僧籍を有する人を対象に「特性評価型」の自己推薦選抜を実施する。高校時代に得た各種資格における能力を積極的に活かし、また曹洞宗僧侶として生涯にわたって禅および仏教の修学をつづける意欲がある。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

禅学科では、広い視野に立ちながら禅に関する多くの関係文献を丹念に読解していく学習態度と知識と読解力が求められる。そのため、高校でのすべての科目を十分習得し、日常的な学習の習慣が身についている。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

禅学科のカリキュラムを修得する上で必要な国語・外国語・歴史において、十分な基礎能力を有し、また、与えられた課題に対し、自分の視点や意見を論理的に表現できる文章力、大学生活に適応できる思考力、コミュニケーション能力を有して、周囲の人々と豊かな人間関係を構築できる。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

世界的に関心を持たれている禅や仏教の歴史や思想を体系的に学習・研究することによって、国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：文章を読解し思考し、論理的に表現することができること。古文・漢文の基礎を身につけること。
- ・外国語：聞く、話す、読む、書く、の基礎的な英語を中心とした外国語4技能を身につけること。
- ・地理歴史・公民：日本や世界各地の歴史、宗教、文化や社会についての基礎知識を身につけ知的好奇心をもつこと。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・予習復習を基本とした高校までの学習習慣が維持できるよう、大学から与えられた課題や、苦手科目の復習などに取り組むこと。

- ・ 宗教や思想哲学に限定せず、文学や新聞など、幅広い分野の書物を読む習慣を身につけ、読解力、思考力、表現力を磨くこと。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

仏教学科は、駒澤大学及び仏教学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 仏教学科の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

仏教を学ぶ強い意欲を持っていることを基準に各種の自己推薦・特別選抜を実施する。特に、仏教を学ぶ上で有効な能力に関わる各種検定の資格取得者、および曹洞宗の僧籍を有する人を対象に「特性評価型」の自己推薦選抜を実施する。

高校時代に得た各種資格における能力を積極的に活かし、また曹洞宗僧侶として生涯にわたって禅および仏教の修学をつづける意欲がある。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

仏教学科では、広い視野に立ちながら多くの関係文献を丹念に読解していく学習態度と知識と読解力が求められる。そのため、高校でのすべての科目を十分習得し、日常的な学習の習慣が身につけている。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

仏教学科のカリキュラムを修得する上で必要な国語・外国語・歴史において、十分な基礎能力を有し、また、与えられた課題に対し、自分の視点や意見を論理的に表現できる文章力、大学生活に適応できる思考力、コミュニケーション能力を有して、周囲の人々と豊かな人間関係を構築できる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

世界的に関心を持たれている仏教や禅の歴史や思想を体系的に学習・研究することによって、国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：文章を読解し思考し、論理的に表現することができること。古文・漢文の基礎を身につけること。
- ・外国語：聞く、話す、読む、書く、の基礎的な英語を中心とした外国語4技能を身につけること。
- ・地理歴史・公民：日本や世界各地の歴史、宗教、文化や社会についての基礎知識を身につけ知的好奇心をもつこと。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・予習復習を基本とした高校までの学習習慣が維持できるよう、大学から与えられ

た課題や、苦手科目の復習などに取り組むこと。

- ・ 宗教や思想哲学に限定せず、文学や新聞など、幅広い分野の書物を読む習慣を身につけ、読解力、思考力、表現力を磨くこと。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国文学科は、駒澤大学及び文学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 国文学科が求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

- ・仏教と禅の精神を建学の理念とする本学に対して理解を示し、多様な知的好奇心を抱き、柔軟な視点・発想を有して自らの関心を掘り下げようとする意欲を持つ。
- ・日本の文学作品や文化に関心を抱いて日頃から読書に慣れ親しみ、言葉や人間に対する理解を深めようとする。特に、国語学・国文学・漢文学に強い関心を持ち、それを支える幅広い知識・読書経験などを有している。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

- ・高校までの履修課程において習得した知識、特に、現代文・古典の諸分野における基礎的な学力を身につけている。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

- ・日本の文学・文化について考察を深め、その成果をまとめ上げて発表報告する表現力を持つとともに、討議などが支障なくできるよう、他の人との関わり合いの中で基本的なコミュニケーション能力を身につけている。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

- ・日本の文学・文化に主体的な関心と学修意欲を持つとともに、さまざまな国の文化・社会の多様性を認識・尊重し、自らと異なる考えを持つ他者と協働することができる。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・高等学校における「国語」において、国語学・国文学（古典・現代文）・漢文学に関する基礎的知識と教養を習得している。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・漢字を調べ、意味を理解し、正確に書けるようにする。
- ・語彙力をつける。
- ・文章が正確に読めるようにする。
- ・古文単語、古典・近現代を通じた文学史、文法に関する基礎的な知識を身につける。
- ・国語の教科書で学習する文学作品以外にも日本、世界の文学作品に触れる。
- ・文学作品以外の文章、社会の出来事に関わる新聞記事や本にも関心を持って、数多く読んでおく。
- ・日常的な言語生活の中で言語感覚を身につけ、表現力を高め、コミュニケーション能力の向上に努める。
- ・異なる文化や社会背景を持つ人々を理解し、協力して活動することに努める。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
	S方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通 テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	◎	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校推薦 選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
事前課題			◎	○			
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
		筆記	◎	◎	◎	◎	
		英語		○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		日本留学試験（成績）		○			
		小論文等		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
小論文等			◎	○			
英語			◎				
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

英米文学科は、駒澤大学及び文学部の入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 英米文学科が求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

- ・本学の建学の精神に基づき、英語圏の言語文化や社会に興味を抱き、言葉や人間に対する理解を深めようとする意欲と目的意識をもつ。
- ・特に、イギリス文学・アメリカ文学・英語学の3つの学問分野に強い関心があり、それを支える幅広い教養・読書経験を有する学生を求める。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

英語や日本語の高い運用能力があるだけでなく、英語圏の社会・歴史・文化に関する基礎的な学力が身につけている。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

入学後に、プレゼンテーションやディスカッションなどが支障なくできる能力がある。日頃から、広く国際社会の問題に目を向けており、自身の意見を積極的に表現することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

英語圏の文学・文化を深く学ぶとともに、英語圏以外の多様な社会の文化や伝統を尊重し、異文化交流に一定の理解がある。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・高等学校における「英語」及び「国語」の基礎的・応用的知識の修得に努める。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・英語圏の歴史・文化を理解し、その多様性を尊重する視点を身につける。
- ・英語で書かれた様々な文学作品に触れることで、言葉が紡ぎだす文化や思想を学び、自己の再発見に努める。
- ・英語コミュニケーション能力のさらなる向上を図るため、他者との議論や協働活動を高め、自らの知見を広げると共に、国際交流イベントに参加する等、自主性・積極性を身につける。

3) 英語能力を証明する検定試験に積極的にチャレンジし、英米文学科で専門的な学問を行うために必要な英語力を身につける。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴	
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。	
	T方式	筆記試験		◎	○			
	S方式	筆記試験		◎	○			
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。	
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文等	○	◎	◎	◎		
		面接・口頭試問	◎	◎	◎	◎		
	自己推薦選抜（特性評価型）	出願書類	○	○		○		
		事前課題	◎	◎	○	◎		
		面接・口頭試問	◎	◎	◎	◎		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
	指定校編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。また、多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、
			小論文	○	◎	◎	◎	
			英語		◎			

		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
国際型選抜	出願書類	○	○			○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
	事前課題		◎	○			
	面接・口頭試問	◎	◎	◎	◎		
外国人留学生選抜	出願書類	○	○			○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
	日本留学試験（成績）		○				
	小論文等		◎	○			
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
編入学者選抜	出願書類	○	○			○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
	小論文等		◎	○			
	英語		◎				
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地理学科は、駒澤大学及び文学部受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 地理学科が求める学生像

（AP1） 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解している。地域の文化や環境に関心を持ち、入学後学んだ地理学の専門知識や技術を、積極的に社会に還元しようとする意欲がある。

（AP2） 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

地理学科での学修に必要な基礎学力を身に付けている。受験科目に特化して勉強するのではなく、高等学校の教科・科目の広い範囲にわたって、知識・技能をよく身に付けている。

（AP3） 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

地図・統計や野外観察などを通じて、地域の諸問題を客観的に判断することができる。分析結果をレポートやプレゼンテーション等により、分かりやすく表現することができる。

（AP4） 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

他者と協働して行う調査・研究において、他者の考えの多様性を尊重しながら、自分の意見を主張し、主体的に行動することができる。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

- ・高等学校における「地理」の知識
- ・幅広い読書
- ・日常の社会問題、環境問題に関心を持つ
- ・地図を見る習慣を身につける
- ・屋外に出て、いろいろなものを見る

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	○	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	

学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○		本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○		本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
事前課題			◎	○				
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文	○	◎	◎	○		
		英語		○				
		面接・口頭試問	◎	○	◎	○		
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		○				
		面接・口頭試問	◎	○	◎	○		
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。	
		日本留学試験(成績)		○				
		小論文等		○	○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	○		
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。	
小論文等			◎	○				
英語			◎					
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎			

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部歴史学科は、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 歴史学科の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、かつ歴史に対する旺盛な好奇心と自発的に歴史を学ぼうとする熱意を有している。また、本学科において4年間で修得した知識や技能を実社会で活かしたいという態度と目的意識を有している。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の基礎的な学力を身につけている。特に「国語」、「英語」の基礎的な学力を有している。さらに、高等学校の教育課程において、日本史や世界史などの地理・歴史科目のみならず様々な知識を幅広く修得し、大学において教養と専門の知識・技能を修得するための基礎的な学力を有している。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

現代に生きる我々が抱えている課題について、その歴史的背景を考え歴史的文脈に沿って理解し判断しようとする意識を有している。また、物事を多角的にとらえる柔軟な思考力と、根拠に基づいて考察・判断した結果を論理的に表現できる能力を有している。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の文化・社会・宗教の違い、価値観の違いについて理解しつつ、自らの意見・考えを有し、異なる意見や価値観を尊重しながら、建設的に対話を進める能力を有している。また、これまでに修得した技能や経験を活かし、多種多様な個性を有する本学科において主体的に協働していく能力を有している。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

特に「国語（古文・漢文）」と「英語」については、高等学校レベルの基礎学力をつけておく。また高等学校の歴史教科を履修し、日本史、世界史および考古学に関する基礎的知識を修得している。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

身近な歴史に興味を持ち、史跡や歴史的建造物、博物館などを見学する。国内外の様々な出来事に関心を持ち、幅広い手段で情報を収集する。

多様な文化・慣習を有する人々を受け容れ、協力して活動する。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
	S方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	◎	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	自己推薦選抜 (特性評価型)	出願書類	◎	◎		◎	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する、特に高等学校在学中に取得した資格等、特殊技能に秀でた学生の受け入れを目的に、書類審査および面接・口頭試問にて判断する。
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
指定校編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。また、多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。	
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文
		小論文	○	◎	◎	◎	
		英語		○			

		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
国際型選抜		出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
外国人留学生選抜		出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		日本留学試験(成績)		○			
		小論文等		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
編入学者選抜		出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

社会科学部は、駒澤大学及び文学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 社会科学部が求める学生像

（AP1） 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学の建学の理念を理解し、社会や福祉の専門領域に関心を持ち、社会科学部で学んだ知識・経験を社会に出てから活用したいという意欲をもっている。

（AP2） 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校までの教育内容を幅広く修得し、「自ら学ぶ力」を身につけているとともに情報リテラシーを体得している。社会学専攻では特に「国語総合」、「英語」の基礎的な学力を身につけている。

（AP3） 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

現代社会に対して強い問題意識を持ち、社会をより良くしていきたいという願いと意欲を持っている。また、現代社会の諸現象、問題について、様々な情報に基づき、自ら考察を行い、その結果をわかりやすく説明する基本的な能力を身につけている。

（AP4） 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

多様な文化・価値観の相違を認識し、社会倫理・福祉倫理を理解し、他者を尊重し、主体的に協働していく能力や意欲を身につけている。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

社会科学部には2つの専攻がある。それぞれ入学前に修得することが望ましい教科や取り組むべき学習習慣については、以下のとおりである。

<社会学専攻>

- ・高等学校で学修する教科・科目を幅広く修得する。特に、英語を中心とした外国語4技能の運用能力や国語の基礎能力を身につける
- ・評論などに触れて読解力を高めるとともに文章を書く機会を増やし、論理的な文章の読み書きに努める
- ・国内外のニュースに関心をもって新聞や書籍から情報収集し、社会的事象の背後にある社会構造にも関心をもつ
- ・社会的なテーマについての課題発見・分析に努めるほか、視野を広げて多様な文化・価値観を尊重する姿勢を身につける
- ・社会貢献、社会参加活動に積極的に参加し、多様な他者と協働して目標を達成、もしくは課題解決に取り組み、自身の考えを発表する機会をもつ

<社会福祉学専攻>

- ・社会に対する理解を深めるために、ニュース番組の視聴や新聞を読む習慣を身につけておく

- ・読書習慣を身につけ、常に問題意識を持つことや、論理的思考を磨いておく
- ・支援活動や社会的活動（ボランティア活動）に主体的・積極的に参加し、その成果や感想をまとめ発表しておく
- ・高齢者、障害者、子ども、外国人など、多様な人々との交流を深めておく

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

社会学科社会学専攻は、駒澤大学、文学部及び社会学科入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 社会学科社会学専攻の求める学生像

（AP1） 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解している。さらには、社会学科社会学専攻での学びを主体的な自己形成につなげ、学んだ知識や経験を社会に出てから活用したいという強い意欲をもっている。

（AP2） 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の基礎的な学力を身につけている。特に「国語総合」、「英語」の基礎的な学力を身につけている。さらには、情報通信技術を使いこなし、データを読み解くことができる情報リテラシーを体得している。

（AP3） 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

現代社会に強い関心があり、社会をより良くしていきたいという願いを持っており、広く社会に目を向け、幅広い知識を養おうとする態度を身につけている。そして、現代社会における諸現象、問題についての様々な情報に基づいて社会の仕組みを理解しようと努めるとともに、自ら考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明する基本的な能力を身につけている。

（AP4） 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

多様な文化・価値観の相違を認識し、他者とのかかわりあいの中で他者を尊重し、主体的に協働できるコミュニケーション能力と意欲を身につけている。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

- ・ 高等学校で学修する教科・科目を幅広く修得する。特に、英語を中心とした外国語 4 技能の運用能力や国語の基礎能力を身につける
- ・ 評論などに触れて読解力を高めるとともに文章を書く機会を増やし、論理的な文章の読み書きに努める
- ・ 国内外のニュースに関心をもって新聞や書籍から情報収集し、社会的事象の背後にある社会構造にも関心をもつ
- ・ 社会的なテーマについての課題発見・分析に努めるほか、視野を広げて多様な文化・価値観を尊重する姿勢を身につける
- ・ 社会貢献、社会参加活動に積極的に参加し、多様な他者と協働して目標を達成、もしくは課題解決に取り組み、自身の考えを発表する機会をもつ

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	◎	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	自己推薦選抜（特性評価型）	出願書類	○	◎	○	○	
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	◎		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題	○	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
事前課題			◎	○			
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	◎	◎	◎	◎	
		英語		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
外国人留学生選	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文	

	抜	日本留学試験（成績）		○			化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等		◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等		◎	◎	◎	
		英語		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

社会学科社会福祉学専攻は、駒澤大学、文学部及び社会学科入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 社会学科社会福祉学専攻が求める学生像

（AP1） 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

建学の理念を理解するとともに、現在の福祉社会に関する関心を持っていること。

（AP2） 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校段階までの教育内容を幅広く修得しているとともに情報リテラシーを習得していること。

（AP3） 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

現在の福祉社会に関する問題意識に基づき、主体的・積極的に学びを深めるとともに、学習成果を社会に還元する意欲を持っていること。

（AP4） 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

多様な文化・価値観の違いや福祉倫理を理解し、他者と協働していく意欲を持っていること。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

- ・ 社会に対する理解を深めるために、ニュース番組の視聴や新聞を読む習慣を身につけておく
- ・ 読書習慣を身につけ、常に問題意識を持つことや、論理的思考を磨いておく
- ・ 支援活動や社会的活動（ボランティア活動）に主体的・積極的に参加し、その成果や感想をまとめ発表しておく
- ・ 高齢者、障害者、子ども、外国人など、多様な人々との交流を深めておく

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	○		◎		
		面接・口頭試問	○	○	○	○	
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	○	○	○	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	◎		○	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	
事前課題			◎	○			
社会人特別選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	○		◎		
		外国語等		◎			
		面接・口頭試問	○	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題	○		◎		
		面接・口頭試問	○	○	○	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		日本留学試験(成績)		◎			
小論文等			○	◎			

		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	る。
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	○		◎		
		英語		◎			
		面接・口頭試問	○	○	◎	◎	

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

心理学科は、駒澤大学及び文学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 心理学科の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

入学後は、建学の理念である仏教の教えと禅の精神を理解し、心理学の種々の領域への関心を高めるとともに、科学的なものの見方や考え方をすることができる。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、できれば基礎的な数学や理科の授業を受けていることが望ましい。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

実験や調査によって情報収集したデータを読解し、考察する。そして得られた成果を的確に記述すると共に他者にわかりやすく説明することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

主体的に自ら考え、行動するだけでなく、他者の意見も採り入れ、協働する姿勢をもつ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

心理学は、多様な教科を基盤にしているため、教育課程を幅広く修得することが望ましい。特に5教科においては、国語では文章構造の理解と小論文が作成できること。英語を中心とした外国語では長文読解と基本的な英作文ができること。数学は確率・統計、社会は公民における社会の在り方や人間としての生き方、理科は生物の仕組みについて学んでおくことが望ましい。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・多様な価値観を実感するために、教科の学習以外にも部活動やボランティア活動など課外活動に取り組む。
- ・インターネット等の情報技術の活用により、必要な情報を入手するための方法を広く学んでおく。
- ・周囲で起きている問題に関心をもち、問題解決に向けて情報を整理・分析したり、他者と意見交換したりする経験をもつ。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	各入学制度のねらい
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通 テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦型（総合 評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	○	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校等推 薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
事前課題			◎	○			
特別選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	○	◎	◎	◎	
		英語		○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		日本留学試験（成績）		◎			
		小論文等		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
小論文等			◎				
英語			◎				
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部は、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 経済学部の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、経済学部で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つ。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、大学での学修に必要な基礎学力を有している。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

地域社会、国際社会、産業界の出来事について問題意識を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：母国語の読み書きはすべての教科の基礎となる。文献読解力、文章作成能力のみならず、自らの意見を発信する力を有していることが望まれる。
- ・外国語：英語を中心とした外国語に興味を持ち、基礎的な4技能（聞く・話す・読む・書く）を意識的に学んでいることが望まれる。
- ・数学：経済学的思考力を身につけるためにも、高校までの数学の授業を通じて基礎的な数学力を修得しておくことが望まれる。
- ・地理歴史・公民：社会現象を多面的な視点から理解し、政治、経済、地理ならびに歴史に関して幅広く学習していることが望まれる。
- ・情報：情報の価値や使い方に関する基礎的な知識を修得しておくことが望まれる。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣について経済学科・商学科・現代応用経済学科ごとに指針を作成する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学科は、駒澤大学及び経済学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 経済学科の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、経済学科で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つ。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、大学での学修に必要な基礎学力を有している。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

地域社会、国際社会、産業界を含めた経済社会、および歴史について問題意識を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：レポートや論文等の文章読解・作成能力およびプレゼンテーション技術を取得し、自らの考えを論理的かつ明確に伝えることで他者と主体的に協働することができること。基礎的な文献の読解力と自らの意見を発信する力を有していること。
- ・外国語（英語）：多様性への理解とこれを尊重する能力を取得し、そうした能力取得へのアプローチのひとつとしての英語を中心とした外国語に興味を持ち、基礎的な4技能（聞く・話す・読む・書く）を意識的に学んでいること。
- ・数学：経済学の知識を体系的に身につけるため、高校までの授業を通じて日常生活や経済社会の事象などを数理的にデータとして捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決しようとする論理的思考力を身につけていること。
- ・地理歴史・公民：入学前から主体的に経済社会現象に対して多面的な視点から興味を持ち、経済、政治、地理ならびに歴史に関してできるだけ幅広く学習していること。
- ・情報：多様な情報を収集・分析して適正に判断・思考する力を身につけ、状況に応じて情報通信技術を効果的に使い、経済社会における問題の発見・解決に活用できるようになるため、パソコン等の情報端末の使い方に関する基礎的な知識を身につけていること。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

大学での学びを通じて、幅広い教養を身につけ新たな価値を創造するとともに、地域社会、国際社会、産業界を含めた経済社会の発展へ主体的に貢献できる人材になるため、入学前に私たちの経済社会がどのように構成されているのか、どのように動いているのかという点に興味

を持って新聞や経済社会ニュースに目を通し、わからないことがあったら自分で調べるとい
姿勢を身につけておくことが望ましい。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通 テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	中期	筆記試験		◎	○		
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	○	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	自己推薦選抜 (特性評価型)	出願書類	○	◎		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する、特に高等学校在学中に取得した資格等、特殊技能に秀でた学生の受け入れを目的に、書類審査および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
	附属高等学校等 推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
	全国商業高等 学校長協会特別 推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、かつ商業に関する知識・技能に秀で、全国商業高等学校長協会の推薦を得られた学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	

	指定校編入学者 選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。また多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文	○	◎	◎	◎		
		英語		○				
		面接・口頭試問	◎		◎	◎		
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。	
		日本留学試験 (成績)		○				
		小論文等		◎				
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文等		◎				
		英語		◎				
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

商学科は、駒澤大学及び経済学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 商学科の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、商学科で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つ。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、大学での学修に必要な基礎学力を有している。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

地域社会、国際社会、産業界の出来事について問題意識を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を商学の視点から他者にわかりやすく説明することができる。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・ 国語：社会における問題解決や他者との円滑なコミュニケーションを行うために必要となる基本的な読解力・表現力を身につけていること。
- ・ 外国語（英語）：十分な語彙力と「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の獲得を通じて、多様性を理解し、尊重しようとする姿勢を身につけていること。
- ・ 地理歴史・公民：社会でどのようなことが起きているのかに関心を持ち、自ら調べようとする主体性を身につけていること。
- ・ 数学：日常生活や社会の事象などを数理的にデータとして捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決しようとする姿勢を身につけていること。
- ・ 情報：情報と情報技術を社会における問題の発見・解決に活用しようとする姿勢を身につけていること。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

大学での学びを通じて、幅広い教養を身につけ新たな価値を創造するとともに、地域社会、国際社会、産業界の発展へ商学を通して主体的に貢献できる人材になるためにも、大学入学時の能力として、私たちの社会がどのように構成されているのか、どのように動いているのかという点に興味を持って新聞や社会ニュースに目を通し、わからないことがあったら自分で調べるといった姿勢を身につけておくことが望ましい。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴	
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。	
	T方式	筆記試験		◎	○			
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。	
	中期	筆記試験		◎	○			
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文	○	◎	◎	◎		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	自己推薦選抜（特性評価型）	出願書類	○	◎		○		本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する、特に高等学校在学中に取得した資格等、特殊技能に秀でた学生の受け入れを目的に、書類審査および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題			◎	○		
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題			◎	○		
	全国商業高等学校長協会特別推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、かつ商業に関する知識・技能に秀で、全国商業高等学校長協会の推薦を得られた学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		

	指定校編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。また多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する
		小論文	○	◎	◎	◎	
		英語		○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		日本留学試験（成績）		○			
		小論文等		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
小論文等			◎				
英語			◎				
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

現代応用経済学科は、駒澤大学及び経済学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 現代応用経済学科の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、現代応用経済学科で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つ。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、大学での学修に必要な基礎学力を有している。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

地域社会、国際社会、産業界の出来事について問題意識を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果をビジネスの視点とコミュニティの視点の両面から、他者にわかりやすく説明することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・外国語：大学での学びを通じて多様性の理解とこれを尊重する能力の取得が求められる。そうした能力取得へのアプローチのひとつとしての英語を中心とした外国語に興味を持ち、基礎的な4技能（聞く・話す・読む・書く）を意識的に学んでいること。
- ・国語：大学での学びを通じて、レポートや論文等の文章読解・作成能力およびプレゼンテーション技術を取得し、自らの考えを論理的かつ明確に伝えることで他者と主体的に協働することができるようになるためにも、基礎的な文献の読解力のみならず、自らの意見を発信する力を有していること。
- ・数学：経済学の知識を体系的に身につけるためにも、高校までの授業を通じて日常生活や社会の事象などを数理的にデータとして捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決しようとする論理的思考力を身につけていること。
- ・地理歴史・公民：大学での学びを通じて体系的に修得した専門分野の知識・技能・技術を実際に直面する状況・課題に対して臨機応変に活用できるようになるためにも、入学前から社会現象を多面的な視点から理解し、政治、経済、地理ならびに歴史に関してできるだけ幅広く学習していること。
- ・情報：多様な情報を収集・分析して適正に判断・思考する力を身につけ、状況に応じて情報通信技術を効果的に使い、社会における問題の発見・解決に活用できるようになるためにも、情報の価値や使い方に関する基礎的な知識を身につけていること。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

大学での学びを通じて、幅広い教養を身につけ新たな価値を創造するとともに、地域社会、国際社会、産業界の発展へ主体的に貢献できる人材になるためにも、大学入学の能力として、私たちの社会がどのように構成されているのか、どのように動いているのかという点に興味を持って新聞や社会ニュースに目を通し、わからないことがあったら自分で調べるといふ姿勢を身につけておくことが望ましい。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験	◎		○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験	◎		○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験	◎		○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	中期	筆記試験	◎		○		
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	◎	○	◎	◎	
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題	◎		○		
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題	◎		○		
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
事前課題		◎		○			

	全国商業高等学校長協会特別推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、かつ商業に関する知識・技能に秀で、全国商業高等学校長協会の推薦を得られた学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
	指定校編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。また多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	◎	○	◎	◎	
		英語	○				
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題	◎		○		
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する
		日本留学試験（成績）	○				
		小論文等	◎		○		
		面接・口頭試問	○	◎	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
小論文等		◎					
英語		◎					
面接・口頭試問		○	◎	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部は、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 法学部の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、法学部で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つ。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、大学での学修に必要な基礎学力を有している。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

現代の地域社会、国際社会、産業界の出来事について問題意識をもち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、基本的人権の尊重を日常生活において実現し、他者と主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

高等学校で学習する教科・科目を幅広く修得すること。とりわけ「国語」「英語」をよく身につけていることが望ましい。さらに歴史科目・公民科目についての深い理解があることも望ましい。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・ コンピュータ機器の利用に慣れていることが望ましい。
- ・ 国内外のニュースに関心を持ち、日ごろから新聞や書籍、インターネットにより情報収集を行う。
- ・ 興味を持ったテーマについての課題発見・分析、及びそれについてのディスカッションやディベートを経験する。
- ・ 部活動・留学・ボランティア等の活動を通じ、多様な他者と協働して目標を達成、もしくは課題解決に取り組む。
- ・ 論理性や語彙力を備えた文章力、ならびにコミュニケーション能力の向上に努める。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法律学科は、駒澤大学及び法学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 法律学科の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学の教育の理念を理解し、法律学科で学んだ知識や技能を生かし、物事を深く考察し、興味深い問題の発見やその解決に意欲と目的意識を持つ。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得していること。英語、国語について、よく身につけていることが望まれる。さらに世界史、日本史、政治経済のいずれかについての素養があることも望ましい。また、いわゆる文系の科目のみならず数学、物理、化学の基礎力がある者も法律学を学修する上では役に立つ。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

現代社会の出来事について問題意識をもち、様々な情報に基づき分析・検討することに挑戦し続けることができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、基本的人権の尊重を日常生活において実現し、他者と主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・外国語：日本の法律は、欧米の法律を継受したものであるため、専門的な学修にあたっては外国語を運用する能力が必須である。英語能力（読む・書く・話す・聞く）については高校卒業時に一般的に到達しているレベル（英検2級・TOEIC L&R 550点以上）が求められる。
- ・国語：法律の解釈・運用には法律そのもの、あるいは文献・資料の読解力や、論述力・表現力が必要である。そうした力は一朝一夕に身につくものではなく、高校時代を通じて、様々な文章に触れておくことが望まれる。現代文のみならず、古文・漢文も論理的に文章を読みこなすという能力を付け、また明治～昭和初期の文語体の判決文や法律学の文献を理解する上で、学習しておくことが望ましい。
- ・世界史、日本史、政治経済：法律や法律学は、さまざまな歴史的背景や社会的背景のもと成り立っているものである。したがって、高校時代に歴史ないしは政治経済を含めた社会背景について学習し、深く考察しておくことが、法律学を学修する上では大きな力となる。
- ・数学、物理、化学：法律学は論理力が求められる学問であり、いわゆる理系の科目を高校時代にしっかりと学習することによって、そうした論理的な思考方法が身に付き、法律学を学修することに非常に役に立つ。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・コンピュータを主とした情報機器の利用：大学での学修では、調べることや、レポートや資料作成、あるいは発表など、あらゆる場面でキーボードを使ったコンピュータの利用が必須である。高校時代に基本的なソフト（ワープロ・表計算）については慣れておくことが望ましい。

また、著作権などを意識して、インターネットを正しく利用できるスキル（インターネット・リテラシー）を身に付けておくこと。

- ・新聞等でニュースについて常に触れておくこと：上の世界史、日本史、政治経済のところで述べたように、法律学の学修にあたっては、様々な社会的背景や日本以外の国・地域の差異を認識しておく必要がある。現代の社会問題や国際問題についてアンテナを常に張っておくことが望まれる。
- ・いろいろな形で人と「協働」すること：法律学の重要な構成要素としては「人権」がある。他者の人権に対して意識的になり、多様性を尊重するために、部活動や委員会活動、社会的奉仕や留学など、積極的に他者に関わる活動が望まれる。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	A P	A P2	A P3	A P4	各入学制度のねらい
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	中期	筆記試験		◎	○		
	後期	筆記試験		◎	○		
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文	○	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題にて判断する。
		事前課題		◎	○		
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人

		事前課題		◎	○		物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題にて判断する。	
	社会人編入学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、学び直しを希望する社会人や、多様な経験を有する社会人を受け入れることを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文	○	◎	◎	◎		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。	
			小論文	○	◎	◎		◎
			面接・口頭試問	◎	○	◎		◎
	フレックスB社会人選抜	出願書類	○	○			○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を踏まえた高い専門性を持つ社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
			小論文	○	◎	◎	◎	
			面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	フレックスB勤労学生・有職者特別選抜	出願書類	○	○			○	本学の教育の理念を理解し、就労のため、主に夜間に学ぶ定職に就いている者、定職に就くことが確定している者を対象として、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
			小論文	○	◎	◎	◎	
			面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○			○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
			事前課題		◎	○		
			面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
外国人留学生選抜	出願書類	○	○			○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。	
		日本留学試験(成績)		◎				
		小論文等		◎				
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学	

	小論文		◎			入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
	英語		◎			
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

政治学科は、駒澤大学及び法学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行います。

1. 政治学科の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学の教育理念を理解し、政治学科で学んだ知識や技能を生かし、物事を深く考察し、興味深い問題の発見やその解決に意欲と目的意識を持つ。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、中でも「国語」「英語」についてよく身につけている。さらに、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」のいずれか1教科についてもよく身につけている。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

国・地域・グローバルな政治社会の歴史や現代の出来事について問題意識を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

・高等学校で学習する教科・科目を幅広く修得し、とりわけ「国語」「外国語」をよく身につけている。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・国内外のニュースに関心を持ち、日ごろから新聞や書籍、インターネットにより情報収集を行う。
- ・興味を持ったテーマについての課題発見・分析、及びそれについてのディスカッションやディベートを経験する。
- ・部活動・留学・ボランティア等の活動を通じ、多様な他者と協働して目標を達成、もしくは課題解決に取り組む。
- ・論理性や語彙力を備えた文章力、ならびにコミュニケーション能力の向上に努める。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴	
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。	
	T方式	筆記試験		◎	○			
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。	
	中期	筆記試験		◎	○			
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文等	○	◎	◎	◎		
		面接・口頭試問(グループ討論)	◎	○	◎	◎		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎		
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
	その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願
			小論文等	○	◎	◎	◎	

	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。
国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
	事前課題		◎	○		
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
	日本留学試験（成績）		◎			
	小論文等		◎			
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
	小論文等		◎			
	英語		◎			
	面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経営学部は、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 経営学部の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

- ・本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解している。
- ・入学後は建学の理念に沿い、学業を始めとした多様な活動に失敗を恐れることなく積極的にチャレンジし、粘り強く自己研鑽し続ける意欲がある。
- ・企業経営や市場戦略、社会、経済に対する幅広い関心と知的好奇心を有し、本学部で学んだ知識や技能を生かして社会に貢献する意欲がある。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

- ・大学での学修に必要な基礎学力を有している。特に、国語、英語、地歴公民、数学、情報について基礎的な学力を身につけている。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

- ・知識、技能を活用して自ら課題を発見し、考えることができる。
- ・基礎的な情報収集や分析の技術を身に付けており、分析・研究の成果をレポートやプレゼンテーション等により、分かりやすく他者に伝えることができる。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

- ・目標達成、問題解決のために他者と協働して行う活動において、自分の意見を主張することができる。
- ・多様な意見や異なる価値観を生かして最良の結論を見出すため、チームを主導することができる。または、積極的にチームに貢献することができる。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：読解力や思考力を身につけている。
- ・外国語：英語を中心とした外国語4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）を修得している。
- ・地歴公民：社会や経済の基礎的な仕組みを理解している。
- ・数学：情報の分析に役立つ数学の知識と思考力を身につけている。
- ・情報：ICT（情報通信技術）を利用した情報の収集と分析についての基礎を身につけている。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・自分の考えを伝えるためのコミュニケーション能力の向上に努める。
- ・異なる文化や社会背景を持つ人々を理解し、協力して活動することに努める。

3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程の編成・実施のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。 ○：重点を置いている。

分野区分		DP1	DP2	DP3	DP4	各科目群のねらい	
全学共通科目	宗教教育科目	◎			○	仏教の教えと禅の精神について理解を深め、宗教に対する正しい認識を身につける。	
	教養教育科目（人文・社会・自然・ライフデザイン分野）		◎	○	○	多角的な知識と深い教養を体系的に身につけることによって、公正な判断力を有する豊かな人間性を涵養する。	
		初年次教育科目			◎		高校までの学びから大学での学びへの転換を図り、自律的で自主的な学習態度を身につける。
		キャリア教育科目	○			◎	社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力を身につけるとともに、長期的な視点で将来設計を行い、社会に貢献することのできる能力を育成する。
		外国語科目		◎		○	社会人に求められる十分なレベルの外国語運用能力を身につけ、異言語・異文化に対する多角的な理解と教養を深める
		保健体育科目				○	スポーツを通じて豊かでゆとりある社会生活を実践する能力を獲得し、生涯にわたる健康の増進や体力の向上を図る。
専門教育科目	導入教育科目		◎	○		専門分野で4年間学ぶために必要な基礎を身につける。	
	講義科目		◎			専門分野の知識を体系的に身につける。	
	演習科目			◎	○	少人数クラスで担当教員との密なコミュニケーションを取り、議論や発表を行う。	

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経営学科は、駒澤大学及び経営学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 経営学科の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

- ・本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解している。
- ・入学後は建学の理念に沿い、学業を始めとした多様な活動に失敗を恐れることなく積極的にチャレンジし、粘り強く自己研鑽し続ける意欲がある。

- ・企業経営や市場戦略、社会、経済に対する幅広い関心と知的好奇心を有し、本学科で学んだ知識や技能を生かして社会に貢献する意欲がある。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

- ・大学での学修に必要な基礎学力を有している。特に、国語、英語、地歴公民、数学、情報について基礎的な学力を身につけている。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

- ・知識、技能を活用して自ら課題を発見し、考えることができる。
- ・基礎的な情報収集や分析の技術を身に付けており、分析・研究の成果をレポートやプレゼンテーション等により、分かりやすく他者に伝えることができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

- ・目標達成、問題解決のために他者と協働して行う活動において、自分の意見を主張することができる。
- ・多様な意見や異なる価値観を生かして最良の結論を見出すため、チームを主導することができる。または、積極的にチームに貢献することができる。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：読解力や思考力を身につけている。
- ・外国語：英語を中心とした外国語4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）を修得している。
- ・地歴公民：社会や経済の基礎的な仕組みを理解している。
- ・数学：情報の分析に役立つ数学の知識と思考力を身につけている。
- ・情報：ICT（情報通信技術）を利用した情報の収集と分析についての基礎を身につけている。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・自分の考えを伝えるためのコミュニケーション能力の向上に努める。
- ・異なる文化や社会背景を持つ人々を理解し、協力して活動することに努める。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	○	◎	◎		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
学校推薦選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
	全国商業高等学校校長協会特別推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、かつ商業に関する知識・技能に秀で、全国商業高等学校校長協会の推薦を得られた学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	

		小論文等	○	◎	◎		<p>本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		英語		○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	<p>本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	<p>本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		日本留学試験（成績）		◎			
		小論文等		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	<p>本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		小論文等		◎	◎		
英語			◎				
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

市場戦略学科は、駒澤大学及び経営学部入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 市場戦略学科の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

- ・本学が仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解している。
- ・入学後は建学の理念に沿い、学業を始めとした多様な活動に失敗を恐れることなく積極的にチャレンジし、粘り強く自己研鑽し続ける意欲がある。
- ・企業経営や市場戦略、社会、経済に対する幅広い関心と知的好奇心を有し、本学科で学んだ知識や技能を生かして社会に貢献する意欲がある。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

- ・大学での学修に必要な基礎学力を有している。特に、国語、英語、地歴公民、数学、情報について基礎的な学力を身につけている。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

- ・知識、技能を活用して自ら課題を発見し、考えることができる。
- ・基礎的な情報収集や分析の技術を身に付けており、分析・研究の成果をレポートやプレゼンテーション等により、分かりやすく他者に伝えることができる。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

- ・目標達成、問題解決のために他者と協働して行う活動において、自分の意見を主張することができる。
- ・多様な意見や異なる価値観を生かして最良の結論を見出すため、チームを主導することができる。または、積極的にチームに貢献することができる。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・国語：読解力や思考力を身につけている。
- ・外国語：英語を中心とした外国語4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）を修得している。
- ・地歴公民：社会や経済の基礎的な仕組みを理解している。
- ・数学：情報の分析に役立つ数学の知識と思考力を身につけている。
- ・情報：ICT（情報通信技術）を利用した情報の収集と分析についての基礎を身につけている。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・自分の考えを伝えるためのコミュニケーション能力の向上に努める。
- ・異なる文化や社会背景を持つ人々を理解し、協力して活動することに努める。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜（総合評価型）	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等	○	◎	◎		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
学校推薦選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
	全国商業高等学校長協会特別推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、かつ商業に関する知識・技能に秀で、全国商業高等学校長協会の推薦を得られた学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○

		小論文等	○	◎	◎		<p>本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		英語		○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	<p>本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	<p>本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		日本留学試験（成績）		◎			
		小論文等		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	<p>本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。</p>
		小論文等		◎	◎		
英語			◎				
面接・口頭試問		◎	○	◎	◎		

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医療健康科学部は、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. 医療健康科学部の求める学生像

(AP1) 駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

本学は仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする大学であることを理解し、医療健康科学部で学んだ知識や技能を社会で実践する意欲と目的意識を持つ。

(AP2) 入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得し、本学部での学修に必要な基礎学力（特に、数学、物理、化学）を有している。

(AP3) 課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

地域社会、国際社会、産業界の出来事について問題意識を持ち、様々な情報に基づき考察を行い、その結果を他者にわかりやすく説明することができる。

(AP4) 他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

国内外の多様な文化・価値観の違いを認識し、他者を尊重し、主体的に協働する意欲を持つ。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

1) 入学前に修得することが望ましい教科

- ・ 高等学校における「数学」「理科」の知識

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bをすべて修得しているのが望ましい。

理科：物理学（物理基礎、物理）、化学（化学基礎、化学）、生物学（生物基礎、生物）のうち少なくとも2科目を修得しているのが望ましい。

2) 取り組むべき活動や学習習慣

- ・ 物事を論理的に考察する力や、自分の考えを的確にわかりやすく表現し、他者とコミュニケーションをとる能力の向上に努める。
- ・ 多様な文化・多様な価値観があることを踏まえ、他者と協調性を持つことに努める。

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	T方式	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	S方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	中期	筆記試験		◎	○		
総合型選抜	自己推薦選抜(総合評価型)	出願書類	○	○		○	大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
		筆記試験		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題	○	◎	◎	◎	
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
	その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○
小論文等			○	◎	◎	◎	
数学				○			
面接・口頭試問			◎	○	◎	◎	
国際型選抜		出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
外国人留学生選抜		出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、
		日本留学試験(成績)		◎			

		小論文等		◎			小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。
		英語		◎			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等		◎			
		英語		○			
		面接・口頭試問	◎	○	◎	◎	

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

グローバル・メディア・スタディーズ学部では、駒澤大学入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）に則り、以下のとおり入学者選抜を行う。

1. グローバル・メディア・スタディーズ学部の求める学生像

（AP1）駒澤大学建学の理念への理解〔主体性、多様性、協働性〕

世界のさまざまな問題や身近な社会の課題に対し幅広い視点から関心を持ち、自ら選んだ領域において、大学で深く学び、身につけた力をその改善のために用いようとする意欲を有すること。

（AP2）入学前に修得することが望ましい教養〔知識、技能〕

高等学校の教育課程を幅広く修得していること。特に「英語」および「情報」について、大学での学修に必要な知識、理解、技能を有すること。

（AP3）課題解決へのアプローチ〔思考力、判断力、表現力〕

合理性をもつてものごとを考え、人間性への深い理解をもって判断し、状況と目的に応じてそれらを適切に伝えることができる力を有すること。

（AP4）他者と協働する力〔主体性、多様性、協働性〕

世界のさまざまな地域において、また身近な社会の中において、自分とは異なる多様な人々が存在することを理解し、彼らとともによりよい世界を実現するために協働していく能力を有すること。

2. 入学前に修得することが望ましい教科、取り組むべき活動や学習習慣

- ・グローバル社会におけるコミュニケーション能力の獲得に向けて、授業以外でも英語圏の報道や映像に触れる、英語を話し聞く機会を作るなど、英語 4 技能の運用能力の高度化に努める。
- ・日常触れている「情報」を誰がどのように発信し伝えているか、どのような技術によってそれが行われているかについて関心を持ち、メディアや技術の適切な利活用に注意を払いつつ情報収集・発信を行う
- ・日頃からさまざまなメディアの報道に触れ、学校で学んだ知識と照らし合わせながら、世界のさまざまな地域において、また身近な社会の中において、自分とは異なる多様な人々が存在するという意識を持ち、グローバル社会における課題に目を向ける
- ・興味を持ったテーマについて合理性をもった思考を用いて課題発見・分析に取り組み、その成果をまとめる
- ・部活動、留学、ボランティア等の活動を通じ、多様な他者と協働して目標を達成、もしくは課題解決に取り組む

3. 求める学生像と入学者選抜方法のマトリクス表

◎：特に重点を置いている。○：重点を置いている。

選抜区分		選抜方法	AP1	AP2	AP3	AP4	選抜制度の目的および特徴
一般選抜	全学部統一日程	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
	T方式	筆記試験		◎	○		
	S方式	筆記試験		◎	○		
大学入学共通テスト利用選抜	前期	筆記試験		◎	○		大学での学修に必要な基礎学力を有している、特に知識に優れた学生の受け入れを目的に教科の筆記試験にて判断する。
総合型選抜	自己推薦選抜 (総合評価型)	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する学生の受け入れを目的に、出願書類、小論文および面接・口頭試問にて判断する。
		小論文等		◎			
		面接・口頭試問	○	○	◎	○	
	自己推薦選抜 (特性評価型 (A方式))	出願書類	○	◎		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する、特に高等学校在学中に取得した資格等、特殊技能に秀でた学生の受け入れを目的に、書類審査および面接・口頭試問にて判断する。
		面接・口頭試問	○	○	◎	○	
	自己推薦選抜 (特性評価型 (B方式))	出願書類	○	◎		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学科の求める学生像と適合する、特に高等学校在学中に取得した資格等、特殊技能に秀でた学生の受け入れを目的に、書類審査および面接・口頭試問にて判断する。
プレゼンテーション		○	○	◎	○		
学校推薦型選抜	スポーツ推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、スポーツ競技で高い能力を持ち、スポーツにおいて本学に貢献することのできる学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。
		事前課題		◎	○		
		面接・口頭試問	○	○	◎	○	
	指定校推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れ
		事前課題					

							れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
	附属高等学校等推薦選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を特に理解し、本学で学ぶ意欲が高く、学力・人物とも良好な学生の受け入れを目的に、出願書類および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
	指定校編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、本学で学ぶ意欲が高く、かつ学力・人物とも良好で他の学生の模範となる学生の受け入れを目的とする。また、多様な経験を有する学生受け入れにより、学内の活性化を図る。	
		事前課題	◎	○	◎	◎		
その他選抜	社会人特別選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、実社会での豊かな経験を有し、高い専門性を取得した勉学意欲旺盛な社会人の受け入れを目的に、出願書類、小論文等、筆記試験等および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文等	◎	○	○	○		
		外国語等		◎				
		面接・口頭試問	◎	○	○	◎		
	国際型選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国際的感覚を身につけた、個性ある勉学意欲旺盛な学生の受け入れを目的に、出願書類、事前課題および面接・口頭試問にて判断する。	
		事前課題		◎	○			
		面接・口頭試問	◎	○	○	○		
	外国人留学生選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、国籍・文化的背景の異なる留学生の受け入れを目的に、出願書類、「日本留学生試験」結果、小論文等、および面接・口頭試問にて判断する。	
		日本留学試験(成績)			○			
		小論文等			○	○		○
		面接・口頭試問(英語)	◎	○	○	○		
	編入学者選抜	出願書類	○	○		○	本学の教育の理念を理解し、大学入学後の進路変更や学び直しを希望する学生、および多様な経験を有する学生を受け入れることを目的に、出願書類、小論文等、英語試験および面接・口頭試問にて判断する。	
		小論文等	○	○	○	◎		
英語			◎					
面接・口頭試問		○	○	○	◎			